



過疎・高齢化に悩む山間の集落に再びもどってきた子供たちの声

町道諸木鶴田線の通行も困難で不便な生活

- ・会見町の鶴田・池野・荻名地区は、鳥取県西部の山間に位置。
- ・地区内唯一の幹線道路である町道諸木鶴田線の通行も困難で不便な生活を余儀なくされていた。

地域の活性化で高齢化・過疎化に歯止め

- ・平成12年までに、この路線のうち約3kmについて順次改良が完了したことで、生活圏の中心都市である米子市への交通の利便性が格段に向上。
- ・過疎化対策として池野地区に整備された町営住宅(6戸)入居募集は即日満員で、高齢化・過疎化に歯止め。
- ・町営住宅には子供を持つ世帯が入居し、当地域にある町立会見第二小学校の児童数も11人に増加。
- ・高速道路(米子道)へのアクセス性も向上し、荻名地区のゴルフ場の利用者が約25%増加。
- ・平成11年4月18日に鶴田地区にオープンした県立フラワーパークの入場者も110万人を記録。
- ・今後、順次未改良区間が整備される予定であり、国道181号岸本バイパスの整備とあいまって、さらなる利便性の向上が期待できる。

●町営住宅の入居者の動向

世帯数	年齢層	入居前の住地
6世帯18人	夫婦20～30代 子1～14歳	米子市、西伯町、 日南町

資料 / 日本海新聞掲載データより作成

●各拠点への所要時間の変化



資料 / 鳥取県調べ

●町道諸木鶴田線の開通の影響

	池野・鶴田地区人口 	会見第二小学校 児童数 	民間ゴルフ場 利用者 	県立フラワーパーク 入場者 	会見町税収 	柿の種飛ばし大会 (町最大のイベント)
H10	40戸143人	2人	2.0万人	—	2億7,100万円	延べ1,100人
H11	47戸176人	11人	2.5万人	110万人	2億8,000万円	延べ1,200人
伸び率	23%増	5.5倍	25%増	—	3.3%増	9.1%増

資料 / 鳥取県調べ

